

事務事業実績測定調書

R5調書番号 609

事務事業名称	一般廃棄物最終処分場管理業務										
測定年度	2023(R5)年度			部	環境部			課	東部資源循環センター		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2			R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち									
	施策目標	25.ごみを減らし、資源の循環が進むまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2014(H26)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	一般廃棄物最終処分場への埋立事業は終了しているが、法律で定める廃止基準を満たすまで、浸出水の処理、ガス測定等を行う必要があるため、その業務に従事する職員			
	サブターゲット	最終処分地の土地を利用する市民			
	ターゲットが抱える課題	現状で法律の廃止基準を満たす状態になるには長期間(数十年)必要であり、その間の管理及び土地の利用に制限がかかる。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	法律に定める処分場の廃止基準を満たし、最終処分場としての管理の終了及び土地の活用の幅が広がる。				
事業概要	枚方市一般廃棄物最終処分場は平成14年4月に埋立が終了しているが、法律で定める廃止基準の適合を確認できるまで、必要とされる分析測定を実施。埋立地周辺地域への影響を定期的に維持管理をしながら、平成26年10月から多目的広場として暫定利用を開始した。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						枚方市一般廃棄物最終処分場の適切な維持管理が出来る。				枚方市一般廃棄物最終処分場の維持管理に係る委託及び自主管理を実施する。			
指標設定	指標説明					事故等発生数				進出水搬送及び維持管理に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【決算額/当初予算額×100】			
						単位 件				単位 %			
	指標種類					減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
	指標数値					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					0	0	0	0	100以内	100以内	100以内	100以内
	実績					0	0	0	0	94	99	83	90
達成度						100%				90%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.74
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	6,600	6,562	5,842		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	6,600	6,562	5,842		
歳入	物件費計	7,237	23,991	7,898	8,795	89.8%
	歳出計	13,837	30,553	13,740		
	歳入計 (物件費に充当される特定財源)	0	0	0	0	
一般財源 (物件費に充当されるもの)		7,237	23,991	7,898	8,795	

5. 総括的分析

総括的分析	令和4年度に旧排水処理施設敷地(4,601平方メートル)の売却検討に向けた敷地境界の測量と土壌汚染調査を行い、フッ素が検出されたため、同土地は令和5年度に形質変更時要届出区域の指定を受けた。また、旧最終処分場の維持管理に必要な各種分析や浸出水等搬送業務委託の発注、職員による巡回及び施設維持管理作業を実施し、処分場の適正管理に努めた。多目的広場は、令和5年度も貸し出しを行い、登録団体による利用実績は5団体 延べ40日 1,361人であった。(前年は、5団体 延べ21日 630人。)
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	埋立地表面等の適切な維持管理を継続する。なお、平成14年の埋め立て終了以降20年以上経過し、のり面の樹木等も15mを超えるような大木になったものや、竹林の藪化が進んでいる部分もあるため、外縁部分についても計画的な維持管理の検討を進め、直営にて着手可能な部分の整備を令和5年度より開始した。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 611

事務事業名称	東部清掃工場見学等環境啓発事業												
測定年度	2023 (R5) 年度				部	環境部				課	東部資源循環センター		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5			
総合計画体系	基本目標		5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち										
	施策目標		25.ごみを減らし、資源の循環が進むまち										
	実行計画名												

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2008 (H20) 年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	東部清掃工場の訪問予約をする市民、およびその予約に関連する市民(市内・市外問わず)			
	サブターゲット	環境フェスタ氷室ふれあいの里の駅で東部清掃工場を訪れる市民 見学対応する職員			
	ターゲットが抱える課題	工場見学等の対応が困難になった場合、市民が減量及び環境保全の活動に関心を持つ機会がない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	啓発活動を通じて、市民に4Rの取組等を理解していただくとともに、減量及び環境保全の活動に関心を持って頂けている状態。				
事業概要	ごみの適正な分別や資源の有効活用に関する啓発活動の一環として、随時、東部清掃工場内を事前予約制により、約2時間の施設見学コースにより、見学を行っている。小学校では、4年生の社会科でごみ処理等について学んでおり、市内小学校や他市からも小学生を受け入れて見学を行っている。 また、秋季には、「環境フェスタ 氷室ふれあい里の駅」のイベントを実施し、より多くの市民にごみ処理について、理解を深めていく場とする。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		啓発活動を通じて、市民に4Rの取組等を理解していただくとともに、減量及び環境保全の活動に関心を持って頂けている。				市民が、減量及び環境保全に関して触れる機会が増える。				東部清掃工場見学等、減量及び環境保全に関連する啓発活動を実施する。			
指標設定	指標説明	イベントアンケートで減量及び環境保全の活動に関心を持ったと答えた割合(実施した場合の目標値) 【算出式:減量及び環境保全の活動に関心を持ったと答えた人数/アンケート回収者数×100】				東部清掃工場見学等イベント参加人数				東部清掃工場見学等イベントの開催回数			
		単位				単位				単位			
		%				人				回			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	70	70	70	70	300	300	300	300	1	1	1	1
	実績	0	0	100	100	0	0	115	793	0	0	1	2
	達成度	143%				264%				200%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.91
再任用	0.10
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	8,848	8,784	7,688		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	8,848	8,784	7,688		
歳入	物件費計	0	0	413	651	63.4%
	歳出計	8,848	8,784	8,101		
	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
歳入	府支出金	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	394	0	
歳入計（物件費に充当される特定財源）		0	0	394	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		0	0	19	651	

5. 総括的分析

総括的分析	・施設見学では、拡充として新たな展示物(ごみクレーンの爪の実物 重さ350kg)やインセクトホテルの設置や説明動画の追加・編集を実施した。 ・4年ぶりに開催できた環境フェスタ 氷室ふれあい里の駅では、好評な煙突登頂や地元農産物の直売等に、キッチンカーやCSR活動企業による音楽コンサートなどの新規プログラムを加え、過去最大の529名の方に来場いただき、施設見学やごみの広域処理、食品ロス、リユースの推進等のブースを通して、4Rの推進やごみの減量等、環境への関心を高めていただいた。 ・R4年度好評だったリユース事業「子ども服・おもちゃの無料提供会とミニ工場見学イベント」は、11/27(月)午前と午後の2部制にて開催し、来場者264名うち36名の方に工場見学をしていただいた。リユース提供品については、午前午後ともほぼ無くなる大盛況となった。子ども服 331.5kgリユース(回収量は548.1kg)おもちゃ 416.8kgリユース(回収量は501.4kg)。また、内容を絞り込んだミニ工場見学では、多くの子育て世代の方に、ごみの処理や減量等に対し関心を持っていただける機会となり、後日、改めて団体で見学に来られた方もあった。また、引き続き、環境教育の一環として、見学ルートにインセクトホテルの模型を設置し、昆虫を通じた生物の多様性について学んでもらった。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	拡充
今後の取り組み方針	施設見学の拡充および積極的な広報活動を引き続き実施する。令和5年度に環境基金(旧スマートライフ基金)を活用し更新・充実させた見学設備の視聴覚機器等(プロジェクター装置・動画編集用PCなど)を使用し、見学では見ることが出来ない設備や処理内容などの見学動画等作成を行い、視覚的に、わかりやすい展示やホームページの更新(YouTubeへの動画掲載)を目指す。また、環境教育として、インセクトホテルに加え、クワガタやカブトムシの展示を行う。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 612

事務事業名称	東部清掃工場施設維持管理業務									
測定年度	2023 (R5) 年度			部	環境部			課	東部資源循環センター	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち								
	施策目標	25.ごみを減らし、資源の循環が進むまち								
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2008 (H20) 年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、電気事業法				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	ごみを排出する市民及び事業者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	施設機能が適切に維持・保全出来なくなった場合、ごみの円滑な処理が難しくなる。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	安定したごみ処理施設の運転				
事業概要	・焼却施設【焼却炉 120t/日×2炉(溶融炉はR4年度に停止(廃止)済)】および破碎処理施設【39t/5h】の各施設において、定期補修工事(年2回 前期・後期)の実施 ・各種機器・設備(燃焼設備・燃焼ガス冷却設備・排ガス処理設備・余熱利用設備・排水処理設備、破碎処理設備・選別設備・集じん設備、電気設備)等の保守点検及び清掃・警備業務の実施				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
						東部清掃工場が適正に維持管理されている。				東部清掃工場の施設保全や保守点検等を行う。					
指標設定	指標説明					修繕料、補修工事等に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【決算額/当初予算額×100】				保守点検等の回数					
					単位	%		単位	回						
	指標種類						減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	目標 (見込み)						R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績						100以内	100以内	100以内	100以内	4	4	4	4
達成度						95%				100%					

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	3.86
再任用	0.10
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	23,354	23,193	30,979		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	23,354	23,193	30,979		
歳入	物件費計	599,471	482,787	621,565	652,021	95.3%
	歳出計	622,825	505,980	652,544		
	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
歳入	府支出金	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		599,471	482,787	621,565	652,021	

5. 総括的分析

総括的分析	ごみ処理施設の経年劣化や損傷による能力低下を防止し、安全、安定的な運転を維持するため、定期的に点検整備、補修、予防保全を行う定期補修工事を予定どおり実施した。 また、東部清掃工場焼却施設長寿命化総合計画に基づき、灰基幹的設備改良事業（令和3年度から令和7年度の5か年）を予定どおり進めている。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	東部清掃工場焼却施設長寿命化総合計画の改定版（令和2年3月策定）に基づく基幹的設備改良事業を第1期工事として、令和3年度から令和7年度までの設備機器改良工事を予定どおり実施する。粗大ごみ破碎処理施設においては、長期的な整備計画に基づく定期補修工事や随時の補修対応により、施設性能を維持する。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 613

事務事業名称	東部清掃工場施設運営業務										
測定年度	2023 (R5) 年度			部	環境部			課	東部資源循環センター		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち									
	施策目標	25.ごみを減らし、資源の循環が進むまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2008 (H20) 年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、電気事業法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	東部清掃工場のごみ処理により、環境に影響を受ける市民			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	処理するごみ質の変化や施設の劣化により、排ガス等の処理が不安定になることがある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	不適切なごみの搬入防止や、施設の適切な管理で安定したごみ処理を行う。				
事業概要	・排ガス等の分析の実施 ・焼却炉120t/日×2炉(溶融炉はR4年度に停止(廃止)済)により市域内の焼却ごみ(家庭系一般ごみ及び事業系一般 廃棄物)約6割を適正に処理し、焼却残渣については、広域廃棄物埋立場(大阪湾フェニックス)へ搬出・処分を行う。 ・余熱利用として、発電能力4,500kWhの蒸気タービン発電機により発電を行い余剰電力は売却する。 ・粗大ごみ処理39t/日により市域内の粗大ごみを適正に処理し、処理工程で選別した金属類については、資源化を図る。また、処理工程で発生する不燃残渣については、広域廃棄物埋立処分場(大阪湾フェニックス)へ搬出・処分を行う				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						各分析結果が、自主基準を下回っている。				法令等に基づいて排ガス等の分析を実施する。			
指標設定	指標説明					自主及び法令基準値に対する超過件数				自主及び法令基準値の順守状況の確認回数			
							単位	件			単位	回	
	指標種類					減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					0	0	0	0	12	12	12	12
	実績					0	0	0	0	12	12	12	12
達成度						100%				100%			

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
ロジックモデル②						受け入れた焼却ごみを適正に処理する。				市域内で発生する焼却ごみ(家庭系一般ごみ及び事業系一般廃棄物)を受け入れ、焼却する。					
指標設定②	指標説明						受け入れ焼却ごみを適正に処理できた割合 【算出式:処理量/搬入量×100】				焼却処理量				
							単位 %				単位 トン				
	指標種類						増加することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標				
	指標数値	目標 (見込み)						R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
								100	100	100	100	56,400	55,800	55,200	54,600
		実績						100	100	100	100	60,496	60,940	58,941	58,210
達成度						100%				93%					
ロジックモデル③		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
						市域内の粗大ごみを適正に処理する。				市域内の粗大ごみを受入れ、破碎・選別する。					
指標設定③	指標説明						受け入れ粗大ごみを適正に処理できた割合 【算出式:処理量/搬入量×100】				粗大ごみ処理量				
							単位 %				単位 トン				
	指標種類						増加することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標				
	指標数値	目標 (見込み)						R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
								100	100	100	100	7,219.40	7,142.87	7,067.15	6,992.24
		実績						100	100	100	100	8,514	7,702	7,053	6,764
達成度						100%				103%					
ロジックモデル④		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
						余剰電力について、売却し、収入を得ることができる。				余熱利用として、発電能力4,500kWhの蒸気タービン発電機により発電を行う。					
指標設定④	指標説明						年間売電額				年間発電量				
							単位 円				単位 kWh				
	指標種類						増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	目標 (見込み)						R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
								202,591,000	187,376,000	170,560,000	170,560,000	16,368,594	13,384,000	13,120,000	13,120,000
		実績						191,648,783	184,256,477	231,916,905	274,891,680	13,796,448	14,701,799	14,528,903	15,467,629
達成度						161%				118%					
ロジックモデル⑤		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
						不燃残渣が適正に処理できている。				各種焼却活動等により発生する、不燃残渣を回収できるよう、施設の維持管理に努める。					
指標設定⑤	指標説明						不燃残渣の適正処理率 【算出式: 処分量/不燃残渣の排出量*100】				設備の不具合発生件数				
							単位 %				単位 件				
	指標種類						増加することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標				
	指標数値	目標 (見込み)						R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
								ほぼ100	100	100	100	0	0	0	0
		実績						100	100	100	100	0	0	0	0
達成度						100%				100%					

ロジックモデル⑥		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						山元還元により、溶融飛灰の資源化を行う。				溶融設備を適正に管理して、焼却灰を溶融する。			
指標設定⑥	指標説明					山元還元により、溶融飛灰の資源化ができた割合 【算出式: 山元還元量／溶融飛灰発生量×100】				溶融炉稼働日数			
							単位	%			単位	日	
	指標種類					増加することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
	指標数値					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					100	100	100	—	180	180	180	—
	実績					100	100	100	—	185	188	170	—
達成度						—				—			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	3.86
再任用	0.10
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額 (千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	24,424	24,243	30,979		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	24,424	24,243	30,979		
	物件費計	771,593	825,846	743,665	729,606	101.9%
歳出計		796,017	850,089	774,644		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	184,551	232,246	274,891	219,640	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
歳入計（物件費に充当される特定財源）		184,551	232,246	274,891	219,640	
一般財源（物件費に充当されるもの）		587,042	593,600	468,774	509,966	

5. 総括的分析

総括的分析	年6回(有害物質年2回)の排ガスの分析、年間12回の排水の分析を実施し、分析結果についてはすべての項目において自主基準以下であった。58,210.68tのごみを焼却し、6,764.38tの粗大ごみを適正に処理した。28,210,000kWh発電し、15,467,629kWh売電を行い、274,891,680円の売電収入を得た。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	適正な設備機械等の維持整備をすることで、設備機械や環境への負荷の低減に向けた運転を目指していく。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 622

事務事業名称	東部清掃工場焼却施設長寿命化に係る整備事業									
測定年度	2023(R5)年度		部	環境部		課	東部資源循環センター			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち								
	施策目標	25.ごみを減らし、資源の循環が進むまち								
	実行計画名	25-1.ごみ総量の削減と資源化の推進								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2016 (H28) 年度	年度	～	年度まで	
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律				
関係補助金名称			サンセット	～	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	ごみを排出する市民及び事業者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	東部清掃工場が耐用年数を迎えた際に、新たに清掃工場を建設する必要があり、建設に当たっては多額の費用が発生する			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	既存の焼却施設の延命化を図る				
事業概要	・灰溶融炉の停止（廃止）工事（R4年度完了） ・基幹的設備改良工事 ・延命化工事				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						各年度の工事を適切に進めることにより、第1期工事全体を適切に進める。				第1期工事(灰溶融炉の停止(廃止)工事、基幹的設備改良工事)を進める。			
指標設定	指標説明					第1期工事全体に係る整備の進捗率 【算出式: 出来高(累計)／第1期工事の全体事業費(合計)×100】				当該年度における第1期工事による整備の進捗率 【算出式: 当該年度における出来高/第1期工事の当該年度における全体事業費×100】			
		単位				単位				単位			
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					—	2	41	62	100	100	100	100
	実績					—	2	41	62	100	100	100	100
達成度						100%				100%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	1.00
再任用	0.05
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	9,296	9,236	8,147		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	9,296	9,236	8,147		
歳入	物件費計	5,903	1,561,432	796,950	796,950	100.0%
	歳出計	15,199	1,570,668	805,097		
	国庫支出金	1,968	519,226	265,193	265,194	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
歳入	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	478,300	478,300	
	その他	0	0	53,000	53,000	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	1,968	519,226	796,493	796,494	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		3,935	1,042,206	457	456	

5. 総括的分析

総括的分析	長寿命化計画に基づき令和4年度末までに灰溶融炉を停止（廃止）した。（約2100t-CO2の二酸化炭素削減効果及び約51億円の費用対効果）本事業の行革プラン2020No.23 灰溶融炉の停止（廃止）における効果額として、令和4年度1億4,700万円と令和5年度1億500万円の合わせて2億5,200万円の見込み。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	東部清掃工場焼却施設長寿命化総合計画の改定版（令和2年3月策定）に基づく基幹的設備改良事業を第1期工事として、令和3年度から令和7年度までの設備機器改良工事及び当該年度の循環型社会形成推進交付金の申請等、適宜、進めて行く。今後、長寿命化計画に基づく施設の維持整備を行うとともにその他計画的に実施していくことで、令和30年までの施設の長寿命化を目指す。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 878

事務事業名称	東部資源循環センター運営事務									
測定年度	2023(R5)年度			部	環境部			課	東部資源循環センター	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外							
	施策目標		99.施策体系外							
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	R4年度(2022年度)		年度	～	年度まで
根拠法令等					
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	東部資源循環センターの職員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	東部資源循環センターの運営を円滑に図る			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	課の運営が円滑に行われる				
事業概要	東部資源循環センターの運営業務				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
指標設定	指標説明												
	指標種類												
	指標数値	目標 (見込み)				目標				目標			
		実績				実績				実績			
	達成度												

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	1.76
再任用	0.05
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	19,105	17,942	14,147		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	19,105	17,942	14,147		
歳入	物件費計	2,446	2,460	2,621	2,618	100.1%
	歳出計	21,551	20,402	16,768		
	歳入計 (物件費に充当される特定財源)	0	0	0	0	
一般財源 (物件費に充当されるもの)		2,446	2,460	2,621	2,618	

5. 総括的分析

総括的分析	課内の庶務事務を適正かつ効率的に執行した。
-------	-----------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	庶務事務の正確で迅速な執行管理を行う。